

新学習指導要領がスタートした2022年度、学校現場には資質・能力を育成するための指導と評価を積み重ねながら、より自校に合った形へと軌道修正していくことが求められる。現場が直面する課題や疑問を解決し、よりよい計画・実践につながる情報を提供する。

— 疑問や課題を解決！実践につながる！ —

新課程レポート

ベネッセ教育情報センター

テーマ

生徒とともに深める観点別評価

実践レポート

2学期以降の観点別評価と 教育活動の改善に向けて

2022年度から実施の高校の新学習指導要領においても観点別学習状況の評価（以下、観点別評価）の充実が求められているが、既に多くの学校で、主に定期検査を活用した観点別評価が実践されている。2学

期を前にした今、生徒の学びの質の向上に寄与する評価のあり方を改めて考え、今後の評価をより自校の生徒に合った形に修正していくことが重要だ。また、評価を真に充実させるために、教育活動そのものの改善も欠かせない。そこで今号では、観点別評価の充実と授業改善に、学校一丸となって取り組む先進校の実践事例を紹介する。

育成を目指す資質・能力を明確に掲げ、
生徒、教師が互いの活動を磨き続ける

広島県立安芸府中高校

広島県では、22年度からすべての県立高校で、学校として育成を目指す資質・能力を設定し、ルーブリックを使って育成の状況を評価している。広島県立安芸府中高校では、「6つの力（図1）」を設定し、それらをすべての教育活動とひもづけながら生徒に意識づけするとともに、観点別評価の充実も図っている。

設立 1980（昭和55）年
形態 全日制／普通科・国際科／共学
生徒数 1学年約200人
2022年度入試合格実績（現役のみ）
国公立大は、広島大、県立広島大、広島市立大、北九州市立大などに18人が合格。私立大は、明治大、京都産業大、立命館大、関西外国語大などに延べ272人が合格。

日々の学びを、育成を目指す資質・能力につなげる

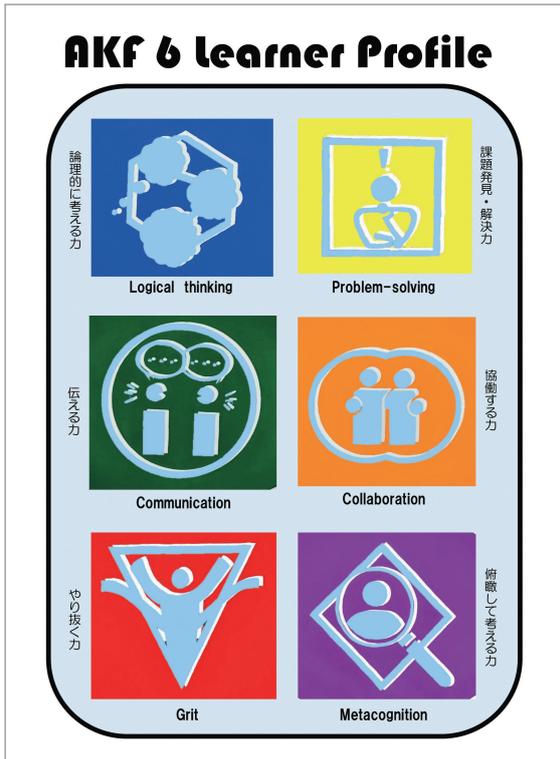
教育活動ごとのルーブリックを生徒と共有し、
教師、生徒が協働的に評価

22年度4月より、学校として育成を目指す6つの力を設定し、それらを学校行事などを含むすべて

の教育活動とひもづけている広島県立安芸府中高校。生徒は、6つの力のルーブリックに基づいて教

育活動に取り組むことで、「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を発揮することのできるようになるかを具体的に理解することができ、活動の目標が立てやすくなるというメリットがある。22年度の同校では、多くの教師が授業の中で、6

図1 生徒が作成した、
育成を目指す6つの力のシンボルマーク



地域社会・国際社会の持続的な平和と発展に貢献できるグローバルリーダーとなるため、特に生徒に求められる6つの力を設定した。
※学校資料をそのまま掲載。

この力を基にした振り返りを実施しており、高橋真校長は「6つの力は学校文化として定着しつつある」と説明する。

「何度も会議を重ねて策定した6つの力を4月から様々な場面で周知したところ、美術選択の生徒有志がシンボルマークを作成したり(図1)、放送部が学校紹介ビデオに入れたり、生徒たちも6つの力を大切な目標だと認識しています。将来、卒業生が同窓会などで集まった時に、6つの力を基

に高校生活を振り返ってもらうことが私たちの夢です」(高橋校長)

6つの力は、教科学習における観点別評価、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価の深化にもつながっている。同校での観点別評価を牽引しているのは、英語科だ。広島県立高校で唯一の国際科を設置する同校には、英語科が中心となってパフォーマンス評価の研究に取り組んできた実績がある。

英語科では、「主体的に学習に

取り組む態度」の評価において様々な工夫を行っている。例えば、授業の予習・復習や、単語テストに向けた学習状況を生徒が振り返り、テスト結果などとともにルーブリック(図2)を用いて自己評価し、それを教師による評価と比較させることで、生徒自身で学習の改善点を把握することができるようにしている。

「教師による評価と自己評価を比較させる際には、生徒の主体性を尊重しています。教師が示した学習の進め方を踏まえて、自分はどうな学習方法を選択したのか、その成果は納得いくものだったのか、学習を改善するとしたら、それはどこかを、自分の言葉で語らせます。そうした自己評価においても、育成を目指す6つの力が求められます。生徒の振り返りのうち、優れた内容については、オンラインプラットフォームではほかの生徒にも共有することで、自己評価する力を伸ばすようにしています」(英語科・頼近眞理先生)

教師が学び方のモデルを示した

図2 「主体的に学習に取り組む態度」のルーブリック(一部)

評価	十分に満足できる	概ね満足できる	努力を要する
	5	3	1
ペアワーク、グループワークなど協働的な活動	相手に関わらず、一貫して積極的に相手をサポートし、関わり、耳を傾け、対応することができる。率先して働きかけ、仲間と協働して、タスクを滞りなくこなすことができる。	積極的にペア相手と関わり、耳を傾け、対応することができる。仲間と協働して、タスクを滞りなくこなすことができる。	仲間との交流が少なく、タスクがうまく進まない。ペアやグループのメンバーに迷惑をかけることがある。
授業の予習・復習	予習や復習を欠かさず行うことに加え、集中して授業の内容をより効果的に学ぼうとしている。	予習や復習をほぼ毎回行い、集中して授業の内容を効果的に学ぼうとしている。	予習や復習を行わないことがある。
授業への主体的な参加	指名しなくても自ら自分なりの考えを述べたり、適宜質問するなど、主体的に授業に参加しようとしている。	指名されれば、自分の考えを述べることができる。指示されたことはできるが、主体的な授業への参加がより一層求められる。	授業中に注意が散漫になることがある。クラスメートに迷惑をかけることがあったり、授業中に他の作業をしたりすることがある。

※学校資料を抜粋して掲載。

上で、生徒が学び方を自分で選択することが重要であり、自分で選択したからこそ、自身の学びを分析することができる。これまでは、ややもすると「結果」ばかりが評価の対象になりがちだったが、生徒の自己分析が深まったことで、結果に至る前の土台づくりにおける生徒の「変化」も評価の対象とするようになったと、同校の英語

科の教師は語る。

「中間調査後、英語科で、生徒の変化を1学期後半はどう見取るかを話し合いました。その結果、家庭学習の取り組みの状況を題材に自分の学習行動を分析させ、その内容に注目していくことなど、今後の方針を共有しました」(国際科主任・加藤賢一先生)

そうした英語科の提出物や家庭学習の見取り方、パフォーマンス課題などは、教科主任会議を通して他の教科にも共有されている。

「もちろん、6つの力をどのように育成し、評価していくか、その具体的な方法は教科によって異

なります。すべてにおいて足並みをそろえるのではなく、教科間の違いを認め合いながら、学校全体で育成していくことが今後ますます重要になってくると思います」

(大川敬洋^{たかひろ}教頭)

「私の所属する国語科でも、6つの力を軸にした授業の目標の確認と、振り返りを行っています。生徒のメタ認知能力を高めるだけでなく、私たち教師にとっても『この生徒は、今日の授業でこんな気づきを得たのか』と、生徒を深く理解し、授業改善の気づきを得る機会になっています」(進路指導

主事・柳楽^{やなぎら}和人先生)

今学期の振り返りを次学期の学びの改善につなげる

生徒が学校生活で身につけた資質・能力を自己評価し、2学期以降の取り組みを三者懇談で保護者にプレゼン

同校では7月に、生徒が6つの力をどの程度身につけたかをルーブリックを用いて評価する、生徒による自己評価を行う。そして三者懇談では、その自己評価の結果

と2学期以降の高校生活の過ごし方を、生徒から保護者と担任にプレゼンする。生徒のプレゼンを聞いた保護者と担任は、生徒に対してフィードバックを行い、2学期

図3 三者懇談プレゼン準備シート

1年 組 番 氏名

AKF6つの力 三者懇談プレゼン準備シート (1学期)

入学してからこれまでを振り返り自身の成長を考へてみましょう。親さんが保護していることはご家族の人、先生御は良く知っています!! 三者懇談のプレゼンの機会を選び、親さんの友となっている保護者の方と担任の先生と一緒に、2学期の目標・目指していきたいことを話し合おう。

入学してからこれまでを振り返るにあたり、ただ課題と考へても自分自身の成長を分析する事は難しいので、そこでAKF6つの力をもとに、自分で進歩が見られたと思う1つ(得意な人・得意な科目・得意な活動)を、次に今の自分にとってこれが一番強みだと思える方を1つ下の欄にまとめましょう。

またその強みについては、①具体的な活動(頑張ったこと) ②成長・成果(できるようになったこと) ③課題・改善・目標(なりたいたい自分に目指して、プレゼンの準備をしたいと思います)。

プレゼン時間は、3分です。目標には、このシートを基にプレゼンを行っていきましょう。素晴らしいプレゼンを期待しています。

AKF Learner Profile	論理的に考える力	課題発見・解決力	伝える力
	働ける力	やりぬく力	前向きに考える力

【頑張った場面】・キーワード

【日常生活】・運動(走りやダンス)・読書・読書感想文・英会話(英検)
 【学習】・勉強(数学)・学習計画・資料作成・予習・授業・復習・小テスト・定期考査・模試
 【行事】・家庭祭・体育祭・文化祭・学年の集い・学年の発表・発表
 【クラブ】・部活動・クラブ活動・クラス役員・クラブ内の役割・班長
 【部活動】・ラグビー・サッカー・バスケット・バレー
 【その他】・家庭祭・学年学習・学校・進・思い事

達成度	6つの力	① 具体的な活動 (頑張ったこと)	② 成長・成果 (できるようになったこと)	③ 課題・改善・目標 (次の目標)
高				
低				

三者懇談後、保護者の方と担任の先生が記入いただいたアドバイス等を基に、さらに深く自分自身について考え、成長を促すために活用してください。

保護者の方へ このプレゼンを通して、お子様の成長・課題等について感じられたことを何でも結構ですのでお伝えください。

保護者 コメント欄	
--------------	--

※学校資料をそのまま掲載。

以降のさらなる成長を促す考へた。

「三者懇談に先立って、生徒はあらかじめプレゼン準備シート

(図3)の作成に取り組み、6つの力の中で特に身につけることができた力と、身につけられなかった力を選び、学校生活の過ごし方などとともに整理します。同時に、2学期以降、授業や学校行事にどのように取り組んでいきたいかを宣言します。三者懇談での生徒によるプレゼンは、21年度2学期に試行的に実施したのですが、普段、

家庭ではなかなか聞けない学校生活の様子を知ることができたと、保護者にもとても好評でした」(指導教諭・久山慎也先生)

さらに同校では、学期に1回程度予定する授業観察でも、6つの力がどのように育成されているかを、授業を見る視点の1つとして設定。生徒中心の授業で6つの力が育まれているかを、教師と生徒の発話時間の可視化などを通して検証し、2学期以降の授業改善につなげていく計画だ。



頼近真理
国際科1学年担任
教職歴17年。同校に赴任して5年目。英語科。



加藤賢一
国際科主任・外国語科主任
かとう・けんいち
教職歴20年。同校に赴任して2年目。英語科。



柳楽和人
進路指導主事・進路支援部主任
なぎら・かずと
教職歴22年。同校に赴任して8年目。国語科。



久山慎也
指導教諭・教育研究部主任
ひさやま・しんや
教職歴26年。同校に赴任して1年目。英語科。



大川敬洋
教頭
おおかわ・たかひろ
教職歴29年。同校に赴任して2年目。



高橋真
校長
たかはし・まこと
教職歴36年。同校に赴任して2年目。

今後の展望

教師は自身の授業スタイルを更新し、 学校は生徒が資質・能力を発揮する多様な場を設ける

高橋校長は、「振り返りをさらに充実させることで、生徒に、自分はずな学ぶのか、何のために学校に来ているのかを、1コマ1コマの授業で成功体験を味わわせながら、考えさせたい」と語る。

「日々の振り返りは確かに大切ですが、それが単なる作業になって形骸化しないよう、注意が必要です。そのため、先生方が生徒の振り返りに目を通し、6つの力の育成につながる学びとして価値がある振り返りをクラス内で共有することが今後も欠かせません。振り返りを自己との対話にとどめず、クラスメートがどんな学びを抱えているのか、どのような展望を抱えているのかに気づかせることは、他者との対話のきっかけになるはず。また、先生方には、6つの力の育成の視点で自身の授業を振り返ることで、自分の授業

の癖を見抜き、新しい授業スタイルに転換するチャンスにしてほしいと思っています」（高橋校長）

加藤先生は、「6つの力はすぐには評価できるものばかりではなく、かつ、発揮しながら身につけるものだからこそ、学校には、生徒が資質・能力を発揮する真正の学びの場が必要」と語る。

「本校は、『総合的な探究の時間』だけでなく、他の授業においてもプロジェクト学習に力を入れていますが、プロジェクト学習は、まさに6つの力を総合的に発揮する場です。様々なプロジェクト学習における学びの成果を地域、そして海外に発信し、交流する機会を増やすことで、生徒は、本校が育成を目指す6つの力が社会に出た時も確実に役立つものであると気づくはず」（加藤先生）

育成を目指す「6つの力」を通じて成長を見取り、
生徒に「なりたい自分」を描かせる広島県立安芸府中高校の取り組みを
VIEWnext ONLINE で詳しく紹介します

<https://view-next.benesse.jp/view/web-hs/article11442/>



新課程に関する情報は、『**ハイスクールオンライン**』でお届けします！

・新教育課程の参考になる特設コーナー設置 ・過去のオンラインセミナーのアーカイブ動画・資料などを掲載！

新課程レポート

ベネッセ教育情報センター

『ハイスクールオンライン』トップページ>新課程からアクセス

https://bhso.benesse.ne.jp/hs_online/sidou/shinkatei/shidou/index.html